

# 平成30年度(2018年度)公益財団法人静岡県文化財団事業報告

## I 総括

平成30年度(2018年度)は、第4期(2017~2021年度)グランシップ指定管理業務の2年度目であり、「上質で多彩をより身近に」「県民との繋がりと広域的な協働・交流」「安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化」「働きやすい職場づくり」を四本の柱として事業を展開した。

特にグランシップ企画事業では、戦略的に展開するため、新たに事業目的を「音楽文化の普及・振興」「文芸・美術等の振興」「伝統芸能の継承」「子育て世代への支援」の4本の柱に整理し、事業に取り組んだ。

### 1 上質で多彩をより身近に

- ・ 県と一体となって、文化芸術の振興 一本県の文化の創造、発展、普及一 を図るため、クラシック、ジャズ等の音楽や、歌舞伎、能楽等の伝統芸能を中心に「上質」で「多彩」な公演や講座、ワークショップをグランシップを始めとして、県内各地で実施した。
- ・ 「ふじのくに文化情報センター」では、「ふじのくに文化情報フォーラム~個別テーマ実践プログラム~」を新たに取り組むなど、県民の文化芸術活動への支援を積極的に進めた。

### 2 県民とのつながりと広域的な協働・交流

- ・ グランシップの賑わい創出を目指し、大学、公立美術館等が協働で進めている「めぐりアート」と連携した「めぐりアート+ (プラス)」を新たに開始するなど、静岡県立美術館、静岡県舞台芸術センター(SPAC)を縦糸に、大学、高校及び中学等の学校、市町の公立文化施設、文化芸術団体、アーティスト、マスコミ、企業を横糸に、連携の強化を図った。
- ・ 県民参加型の催事として、11回を数える「音楽の広場」で、県内オーケストラの参加者が過去最高を記録したほか、県内高校生、大学生が参加主体となった「春の音楽祭」を初開催した。「トレインフェスタ」では、観光協会等が展開するデスティネーションキャンペーンと連携し、横浜、熱海、名古屋から臨時列車を運行するなど、県内外から3万人近い来場者を記録し、広域的な繋がりを目指す事業を展開した。
- ・ 静岡オリジナル楽曲を創作する「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト」を引続き実施したほか、新たに県内外の伝統芸能の実演とシンポジウムで構成した「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」を開催するなど、県内外の様々な組織、個人とネットワークを構築しながら、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて本格化する文化プログラム推進の一翼を担った。
- ・ 県文化プログラムの県域プログラム内の2つがグランシップで計画されるなど、県内における文化プログラムの拠点として、推進に向けて積極的に関係機関等と連携を図った。
- ・ 貸館の利用を促進するため、きめ細かな貸館利用情報を分かりやすく提供し、利用者への催事開催支援サービスを充実するなど、一層の利便性向上に取り組んだ。また、ツインメッセ静岡と連携して、休館明けとなる2021年以降の大規模催事誘致や首都圏への営業活動を行った。

### 3 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ・ ユニバーサルデザインや省エネルギーに配慮するとともに、適時適切な施設の点検を行い、照明器具等の設備交換など遅滞なく維持修繕を実施した。また毎月の防災訓練、研修を通じ、安全・安心な施設・設備の管理運営に取り組んだ。
- ・ 労働関係のキャリアアップ助成金を獲得するなど、国等の支援制度を積極的に活用するとともに安定した収入の確保と積極的な経費の節減により、効率的・効果的な運営を図った。

### 4 働きやすい職場づくり

- ・ 契約職員の正規職員化制度の活用や、改正育児休業法を受け就業規程を改正、研修による意識啓発等により職員の仕事と生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)を推進した。

## II 事業概要

### 1 文化芸術の振興事業

#### (1) グランシップ企画事業

複合施設としてのグランシップの特性を生かし、新たに戦略目標を「音楽文化の普及・振興」、「文芸・美術等の振興」、「伝統芸能の継承」、「子育て世代への支援」の4本柱として、「上質で多彩な鑑賞事業」、「誰もが参加できる県民参加型事業」、「ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業」、「関心・理解・親しみを深める教育普及事業」と各種事業を展開した。

#### 【戦略目標別の内訳】

戦略目標	事業本数	入場参加者数
① 音楽文化の普及・振興	25本	26,324人
② 文芸・美術等の振興	10本	42,624人
③ 伝統芸能の継承	19本	8,755人
④ 子育て世代への支援	10本	57,997人
合計	64本	135,700人

#### 【事業形態別の内訳】

方針	事業本数	入場参加者数
ア 上質で多彩な鑑賞事業 ・国内外の上質で多彩な芸術を鑑賞する機会の提供	22本	21,160人
イ 誰もが参加できる県民参加型事業 ・県民がステージに立つことのできる場の提供	16本	64,262人
ウ ワorkshopから公演まで様々なアウトリーチ事業 ・普段文化施設に来られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域や学校等での公演実施	14本	42,768人
エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 ・文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらう機会の提供	12本	7,510人
合計	64本	135,700人

① 音楽文化の普及・振興

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (☆学生・こども設定、★中高生鑑賞プラン対象)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
1	ザ・ワールド・オブ・4トロンボーンズwith 熊谷和徳(タップダンサー) ☆★	5/11 中ホール	人 584	トロンボーンとタップダンサーの競演による公演 出演:中川英二郎(トロンボーン)他 曲目:Abyssos他
2	アントレス・オロスコ=エストラータ指揮 フランクフルト放送交響楽団 ピアノ:チョ・ソンジン ☆★	6/10 中ホール	892	ドイツの名門オーケストラとショパンピアノコンクール優勝者の競演 出演:アントレス・オロスコ=エストラータ(指揮)他 曲目:ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18他
3	ナポリ・マントリン・オーケストラ ☆★	7/8 交流ホール	304	マントリン発祥の地ナポリのマントリンオーケストラ公演 出演:ナポリ・マントリン・オーケストラ 曲目:《四季》より「夏」第3楽章プレスト(夏の嵐)他
4	ステイヴ・ガット・バンド ☆★	9/2 大ホール	1,120	ジャズ界の伝説的ドラマーが率いるジャズバンド公演 出演:ステイヴ・ガット(ドラム)他 曲目:WHERE'S EARTH?他
5	バーンスタイン生誕100年記念公演 D. グルーン・ビッグ・バンド 「ウエスト・サイド・ストーリー」 ☆★	11/9 大ホール	991	ビッグバンドジャズ公演 出演:デイヴ・グルーン(ピアノ)他 曲目:ミュージカル「Candide」よりOverture
6	悠久のケルト 幻想の調べと 癒しの歌声～アルタン～ ☆★	12/1 交流ホール	298	ケルト音楽の最高峰アイルランドを代表する楽団による公演 出演:マレド・ニ・ウイー(ヴォーカル/Fiddle)他 曲目:The Gap of Dreams他
7	グランシップ プレミアム・クリスマス・ ジャズ・ライヴ 伊藤君子 ☆★	12/15 中ホール	303	毎年恒例のクリスマスジャズ公演 出演:伊藤君子(ヴォーカル)他 曲目:On A Clear Day他
8	グランシップ&静響 ニューイヤークンサート(2公演)	1/11 中ホール	1,721	静岡交響楽団との共催で実施するクラシック公演 出演:尾高忠明(指揮)他 曲目:ガス・ギャロップ他
9	グランシップ ジャズ・ライヴ H ZETTRIO ☆★	2/10 大ホール	1,754	若手グループによるジャズロック公演 出演:H ZETTRIO他 曲目:Journey他
10	NHK交響楽団×野平一郎 プロジェクト シリーズⅡ ☆★	3/24 中ホール	393	NHK交響楽団と野平一郎氏のコラボ公演第2弾 出演:野平一郎(指揮)他 曲目:静岡トリロジーⅡ他
11	登録アーティスト事業	5/5～9/16 エントランス他	1,808	各種企画事業でのサブイベントでのミニコンサート等 出演:ALBOSTリオ他

イ 誰もが参加できる県民参加型事業 (☆学生・こども設定、★中高生鑑賞プラン対象)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
12	グランシップ 音楽の広場2018 ☆★	8/5 大ホール	人 7,592	本県ゆかりの音楽家600人による大オーケストラ・合唱団 による県民参加型公演 出演:広上淳一(指揮)他、曲目:ふるさと他
13	グランシップ ビッグ・バンド・ジャズ・ フェスティバル2018	8/19 大ホール	1,643	アマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル 出演:Red Spicy Big Band他 曲目:Switch In Time他
14	【提携公演】 富士シティウインドアンサンブル 第5回演奏会	11/17 中ホール	162	富士シティウインドアンサンブルによるアンサンブル公演 出演:野村宗一郎(指揮)他 曲目:「笛吹きの日」より第1楽章他
15	【提携公演】 CASA BRASS ENSEMBLE ブラスアンサンブルで奏でるクリスマス	12/16 交流ホール	112	CASA BRASS ENSEMBLEによるブラスアンサンブル公演 出演:岩田恵子(トランペット)他 曲目:クリスマスソング「トレー」他

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
16	【提携公演】 オペラ デイ モータ オペラ「蝶々夫人」	1/19 中ホール	人 556	オペラ デイ モータによるオペラ公演 出演：佐藤愛也他 演目：蝶々夫人
17	グランシップ春の音楽祭2019 ☆★	3/10 大ホール	1,780	10代後半～40代を観客主体とした県民参加による クロス・カルチャー型公演 出演：松沼俊彦(指揮)他、曲目：未来への軌跡他
18	【提携公演】 TAKE HEART BEAT Live Vol.4	3/17 中ホール	251	TAKE HEART BEATによるジャズ公演 出演：TAKE HEART BEAT他 曲目：It Might As Will Be Spring他

#### ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
19	【グランシップ子どもアート体験！】 マントリン・ミニコンサート(1校)	7/9 静岡市	人 60	ナポリ・マントリン・オーケストラによるアウトリーチ公演 講師：ナポリ・マントリン・オーケストラ 会場：県立静岡南部特別支援学校
20	【グランシップ子どもアート体験！】 登録アーティスト アウトリーチ(6校)	9/3～12/12 磐田市他	517	グランシップ登録アーティストによるアウトリーチ公演 講師：栗本カレン他 会場：県立袋井特別支援学校磐田見付分校他

#### エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
21	ジャズクリニック ☆	7/14～8/19 リハーサル室他	人 68	ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル出演者を対象としたジャズ クリニック 講師：奥田”スインギー”英人他、課題曲：BEWITCHED他
22	第39回学生音楽コンクール(本選)	8/18 中ホール	820	県内学生による音楽コンクール
23	ケルト音楽事前レクチャー ☆	10/6 リハーサル室	58	ケルト音楽の理解を深める講座 講師：是松溪太
24	中学生のためのオーケストラ (4公演)	1/30,31 中ホール	2,498	県内中学生に上質なオーケストラ音楽を体験してもらう クラシック公演 出演：松村秀明(指揮)他、曲目：「夏の夜の夢」序曲他
25	オーケストラ塾 ☆	2/2 リハーサル室	39	オーケストラ公演をより楽しめるように解説する事前講座 講師：野平一郎

## ② 文芸・美術等の振興

### ア 上質で多彩な鑑賞事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
1	グランシップ サポーター企画 懐かしの映画会 ☆	10/20,21 中ホール	人 245	文化庁及び国立近代美術館フィルムセンターと連携した 名画の上映 上映作品：稲妻他
2	グランシップ サポーター企画 懐かしの映画会(洋画劇場) ☆	11/17 映像ホール	56	グランシップサポーターの企画による洋画DVDの上映 上映作品：禁じられた遊び他
3	グランシップ サポーター企画 撮影サポーター写真展	12/9～1/26 3階共通ロビー	800	グランシップ撮影サポーターが撮影したグランシップ企画事業 の写真展

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
4	【提携公演】 「翔け～未来へ～」	12/9 中ホール	人 600	音楽青葉会・静岡児童合唱団創立75周年記念、佐藤典子舞台生活70周年記念の公演 出演：音楽青葉会・静岡児童合唱団、佐藤典子舞踊団他 曲目：童謡100年記念 赤い鳥小鳥他
5	静岡の魅力フォトコンテスト(募集)	-	-	静岡県の写真文化発展と振興、また静岡の魅力を全国に発信する第10回写真コンテストの募集
6	ふじのくに芸術祭春の祭典 「授賞式・開会式」	2/17 中ホール	256	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典授賞式・開会式(県との共催)

ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 (★中高生鑑賞プラン対象)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
7	静岡の魅力フォトコンテスト (巡回展)	4/3～2/27 焼津市他	人 40,404	フォトコンテストの周知を目的とした、過去の受賞作品の巡回展示 会場：県内ショッピングモール等
8	【出前公演】 しずおか連詩の会in浜松 ★	10/28 浜松市	116	静岡県出身詩人、大岡信氏提唱の連詩の創作と発表 詩人：野村喜和夫他、タイトル：「子らが 子らが」の巻 発表会場：アクティ浜松音楽工房ホール
9	詩人と語ろう！言葉を語ろう！	10/8 浜松市	19	しずおか連詩の会に連動した詩人と交流するワークショップ 講師：野村喜和夫 会場：クリエート浜松
10	【グランシップ子どもアート体験！】 連詩をつくらうワークショップ(2校)	9/25,11/20 伊豆の国市他	128	連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ 講師：野村喜和夫他 会場：沼津市立開北小学校、伊豆の国市立葦山南小学校

③ 伝統芸能の継承

ア 上質で多彩な鑑賞事業 (☆学生・こども設定、★中高生鑑賞プラン対象)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
1	Parco Production 三谷文楽「其礼成心中」 ☆★	8/10～12 中ホール	人 1,825	初心者でも楽しめる三谷幸喜プロデュースの文楽公演 出演：竹本千歳太夫他 演目：其礼成心中
2	グランシップ寄席 ～春風亭一之輔・玉川奈々福・ 神田松之丞～ ☆★	10/13 中ホール	828	季節やテーマを設定した良質な話芸 出演：春風亭一之輔(落語)他 演目：百川他
3	グランシップ静岡能 ☆★	1/27 中ホール	607	観世流能楽師による能楽公演 出演：山階彌右衛門他 演目：安宅(能)他
4	グランシップ寄席 ～林家正蔵・桂米團治～ ☆★	2/17 交流ホール	294	季節やテーマを設定した良質な話芸 出演：林家正蔵他 演目：一眼国他
5	人形浄瑠璃 文楽 (2公演) ☆★	3/23 中ホール	1,018	文楽協会による人形浄瑠璃公演 出演：吉田和生他 演目：義経千本桜他

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
6	わくわく能楽教室	6/11～9/8 リハーサル室他	人 200	小学生から大学生による能楽体験 *能楽入門公演の一環
7	ふじのくに伝統芸能フェスティバル ～わたしがつなぐ101年後へ	3/30 交流ホール	194	【県文化プログラム500日前イベント】実演とシンポジウム 出演:大倉源次郎、橋本敬之、松原御船唄保存会他 演目:松原御船歌「初春」、一調一声「三井寺」他

ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 (☆学生・こども設定)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
8	【出前公演】文楽事前講座 ☆	8/20 掛川市	人 101	掛川市で実施する文楽公演に連動した事前講座 講師:山川静夫
9	【グランシップ子どもアート体験!】 人形浄瑠璃「文楽」出前講座 (2校)	7/2,3 静岡市他	304	文楽協会の協力による文楽講座 講師:人形浄瑠璃文楽座 会場:静岡市立東豊田小学校、藤枝市立大洲小学校
10	【グランシップ子どもアート体験!】 講談教室(3校)	11/5～22 富士市他	259	本県出身の6代目宝井馬琴監修の講談教室 講師:宝井琴星他 会場:富士市立富士川第一小学校他
11	【グランシップ子どもアート体験!】 浪曲教室(2校)	9/27,10/19 焼津市他	161	小中学生向けの浪曲教室 講師:玉川奈々福他 会場:焼津市立焼津南小学校、御殿場市立富士岡 小学校
12	【グランシップ子どもアート体験!】 狂言ワークショップ(1校)	10/1 河津町	161	小学生向けの狂言教室 講師:三宅右矩他 会場:河津町立南小学校
13	【グランシップ子どもアート体験!】 触れてみよう能楽師～能「羽衣」 (1校)	11/26 浜松市	74	小学生向けの能楽教室 講師:山階彌右衛門他 会場:浜松市立双葉小学校

エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 (☆学生・こども設定、★中高生鑑賞プラン対象)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
14	岩下尚史の 伝統芸能へようこそ! ☆	4/1 910会議室	人 187	各種伝統芸能公演に先立ち、伝統芸能への意識を 深める事前講座 講師:岩下尚史
15	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2公演) ☆★	6/26 中ホール	1,643	国立劇場の出張公演 出演:中村又五郎他 演目:連獅子
16	グランシップ静岡能 楽入門公演 ★	9/8 中ホール	581	初心者向けの能楽公演 出演:観世流能楽師 演目:忠信
17	人形浄瑠璃文楽事前講座 ☆	1/29 交流ホール	100	人形浄瑠璃文楽の公演に先立つ知識を深める事前 講座 講師:山川静夫
18	伝統芸能普及プログラム(能楽)	11/21,1/30 静岡市他	180	大学等との連携による伝統芸能ワークショップ 講師:大倉源次郎 会場:静岡大学他
19	伝統芸能普及プログラム(文楽)	7/3 映像ホール	38	大学等との連携による伝統芸能ワークショップ 講師:人形浄瑠璃文楽座

#### ④ 子育て世代への支援

##### ア 上質で多彩な鑑賞事業（☆学生・こども設定）

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
1	グランシップ世界のこども劇場 ☆	7/1～8/4 中ホール他	人 1,670	世界で活躍する劇団による公演、文楽のワークショップも実施 出演：ニコラ・エリオット(南アフリカ)他 演目：マイ・ボディ・ノズ!他
2	「おかあさんといっしょ」 ガラピコぷ～がやってきた!! (2公演) ☆	9/23 大ホール	3,118	親子向けキャラクターショー 出演：速水けんたろう他 曲目：なないろのしゃぼんだま他
3	ロビーコンサートシリーズ(6回)	10/13～3/9 3階共通ロビー	531	グランシップ登録アーティストによるロビーコンサート 出演：ALBOSTリオ他

##### イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
4	グランシップ こどものくに ～へんてこりんハウス～	5/3～6 大ホール他	人 18,484	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント テーマ：動き
5	グランシップ トレインフェスタ2018	5/19、20 全館	28,567	鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会等、家族で楽しめる 日本最大級の鉄道イベント
6	グランシップ 誰もがWonderfulアート	9/15～30 展示ギャラリー	2,566	県内の特別支援学校児童・生徒による作品展「ウイス・ ハート展」とNHKハート展を開催
7	グランシップ 冬のおくりもの2018	11/17 大ホール他	1,299	グランシップの賑わいを創出するためのクリスマスを盛り上 げる館内装飾や展示・イベント

##### ウ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業（☆学生・こども設定）

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
8	【出前公演】 世界のこども劇場2018 ☆	7/21 掛川市	人 235	グランシップで開催する世界のこども劇場の出前公演 出演：タレイアス・カンパニー(ドイツ)他 演目：レットくんのもくようび他、会場：掛川美感ホール他
9		7/28 菊川市	229	

##### エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
10	合唱ワークショップ ～歌のメロゴーランド～	5/4 中ホール	人 1,298	体を動かしながらこどもから大人まで楽しめるワークショップ 出演：静岡児童合唱団他 曲目：噴き上がるファンファーレ他

#### ⑤ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

##### ア 広報・宣伝の展開

グランシップ企画事業の誘客対象に照準を合わせた広報計画を立て、チケット販売状況に即応した媒体を活用した広報・宣伝を展開した。また、多様化する購買層にあわせて、クラシック、ジャズ、伝統芸能等のセット券は、組み合わせを見直して7種類販売した。

##### イ 新たな世代への取り組み

若年層へ情報発信する有力なツールとして、SNSの一層の活用を目指し、WEB解析を行い、新たな鑑賞者層の獲得に取り組んだ。

#### ウ 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、各公演の学生チケット料金（28歳以下の大学生、子ども）を原則1,000円で設定した。

また、中学校、高校の学校行事や部活動等の課外活動による鑑賞の場合には、チケット料金を800円に割り引くとともに、中高生芸術鑑賞支援制度により交通費を支援した。

さらに、高校生の芸術鑑賞を促進するため、グランシップが幹事館として県内の公立ホールと連携した「高校生アートラリー事業」に取り組んだ。

##### ○高校生アートラリー

参加館数	対象公演数	チケット料金
18館	88公演	学生料金として1,000円から2,000円が大半

#### エ 県外への広報

「トレインフェスタ」、「音楽の広場」、「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト」など、オリジナル性が高く静岡県らしい事業を首都圏などでPRし、事業の認知度を高めた。

### (2) 文化支援

「ふじのくに芸術回廊の実現」を推進する中核的存在となるよう、県内の文化活動を側面的に支援する「ふじのくに文化情報センター」の機能強化を図るとともに、グランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組んだ。

#### ① ふじのくに文化情報センター

文化支援の県域センターとしての効果的で円滑な運営を図るため、運営委員会の改編を検討するとともに、交流と研修の場づくりを積極的に促進するため、「ふじのくに文化情報フォーラム・個別実践プログラム」を新たに組み込んだ。

#### ア 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

文化芸術活動に取り組む人をはじめ、県民の誰もが利用しやすいサイトを目指し、県内の文化芸術催事情報の登録をしやすくした。また情報誌「GRANSHIP」に情報を一元的に集約し、発信機能を強めた。

##### ○登録団体等・施設数

(平成31年3月31日現在)

文化団体	アーティスト	貸施設
281団体	79人	147施設

##### ○アクセス数（延べ数）

対象期間	表示ページ数	アクセス数
H30.4.1~H31.3.31	延べ1,691,443ページ	221,622人

#### イ 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合案内役として相談窓口を運営した。

相談件数	主な相談内容
40件	助成、活動、事業の企画

#### ウ 交流と研修の場づくり

交流と研修・情報収集の場として、「こかげのまなびば」（月2回）と「ふじのくに文化情報フォーラム」（年2回）の充実を図るとともに、文化情報フォーラムから新たな文化活動が生まれ、育つためのワークショップ「個別テーマ実践プログラム」に取り組んだ。

また、文化芸術活動の社会性を考える学術、文化をテーマとした「グランシップ文化講座」（2講座）を開催した。

○ミニ講座「こかげのまなびば」

実施日	毎月2回（隔週水曜日等）18時30分～
会場	グランシップ 1階 文化情報センター
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体や中間支援組織、アーティスト等の講師と参加者が情報やアイデアを交換、交流する場</li> <li>・毎回のテーマは文化支援や地域の文化活動に関する事項</li> <li>・実施回数 24回、参加者 347人</li> </ul>

○ふじのくに文化情報フォーラム

種類	ふじのくに文化情報フォーラム2018 秋	ふじのくに文化情報フォーラム2019 春
実施日	H30.10.14（日）	H31.2.11（月・祝）
会場	グランシップ 交流ホール	グランシップ 会議ホール・風
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別テーマ実践プログラム取り組みレポート 3つの参加プロジェクトの活動内容や今後の取り組みを報告。</li> <li>・交流プログラム 今後のネットワークづくりにつなげるための静岡県の文化に関わる人物について、参加者同士による情報交換。</li> <li>・交流会</li> <li>・参加者 67人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ 「創造思考の伊ハを学ぶ」をテーマに、参加者がいつもと違う視点や発想方法を体感するためのトークセッションと15組のリーダーと参加者によるワークショップ。</li> <li>・交流会</li> <li>・参加者 108人</li> </ul>

種類	ふじのくに文化フォーラム2018 春 個別テーマ実践プログラム			
概要	<p>ふじのくに文化情報フォーラム2018春（H30年3月実施）から「3つのプロジェクト」を選び、グループワークを通じて、課題分析や地域実態調査などを踏まえて、今後の活動計画づくりをする実践的なワークショップ。</p> <p><b>【3つのプロジェクト】</b></p> <p>A「地域のアーティストと街をつなぐ」リーダー：坂田芳乃（アルテ・プラサ）</p> <p>B「東海道を綴る、ワタシ旅」リーダー：柴山広行（丁子屋）</p> <p>C「地域の課題を現代アートで解決する」リーダー：羽鳥祐子（原泉アートプロジェクト）</p>			
講師	山浦晴男（情報工房代表）			
実施日	H30.6.9（土）	H30.7.1（日）	H30.7.29（日）	H31.3.16（土）
内容	「問題意識地図の作成」 ・参加者 14人	「資源写真地図の作成」 ・参加者 15人	「解決策地図と実行計画の作成」 ・参加者 16人	「検証写真地図と次計画立案」 ・参加者 7人

○グランシップ文化講座

概要	最先端の科学技術や社会問題などをテーマに文化を幅広くとらえた講座。日本の第一人者が、若い人たちを中心に静岡県の将来を一緒に考え、明るい姿が想像できる、未来に向けた行動のきっかけづくりへと繋げる。	
テーマ	日本人として知っておきたい『世界激変』の行方	地球温暖化と異常気象
実施日	H30.6.2（土）、3日（日）	H31.3.17（日）
講座数	4講座	2講座とランチセッション1回
会場	グランシップ 910会議室	グランシップ 910会議室
参加者	287人（延べ人数）	206人（延べ人数）

エ 文化活動団体の顕彰等

県内の文化活動を発展、振興していくため、新たな地域文化の創造を目指し多彩で優れた文化活動団体を顕彰した。

○地域文化活動団体顕彰事業

募集期間	H30. 8. 1から9. 30まで
応募団体数	21団体
選考委員会	H30. 12. 21 (金) (選考委員：学識経験者、文化関係者、当財団役員等 6人)
受賞団体	6団体

	団体名	所在地
地域文化活動賞	みらいネット浜松	浜松市
奨励賞	静岡ヴェルディ合唱団 浜岡吹奏楽団 浜松川柳社いしころ会 富士市女流書作会	静岡市 御前崎市 浜松市 富士市
努力賞	あかりアートの会	島田市

② グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに関係する教育関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップを実施した。

また、実演による文化芸術を県内各地へ提供するため、地域で活躍するアーティストをグランシップ登録アーティストとして登録し、各地域の公立文化施設と連携しながら音楽アウトリーチを実施した。

	静岡県公立ホール連携支援研修	登録アーティスト アウトリーチ	インターンシップ
対象	県内公立文化施設職員	登録アーティスト	大学生
期間	H30. 6～H31. 3	H30. 9～12	H30. 6～9
参加人員	研修生：10人、聴講生：7人(延べ106人)	延べ16人(8回実施)	24人(延べ308人)

※インターンシップは、短期集中型3人を含めて、27人。

(3) 文化プログラムに対する取り組み

① グランシップオリジナル文化プログラム

「音楽の広場」「トレインフェスタ」「世界のこども劇場」「誰もがWonderfulアート」を文化プログラムに相応しい内容で実施した。また、「NHK交響楽団シリーズ」では、静岡ゆかりの作曲家・野平一郎氏による静岡らしいグランシップのオリジナル楽曲の創作発表に取り組んだ。

また、新たに若い世代を意識した文楽と演劇を融合した「三谷文楽」やクラシックとポップス、音楽とダンスというクロス・カルチャーで、県民参加型音楽会である「春の音楽祭」を開催した。

② 関係機関と連携した文化プログラム

国、組織委員会、静岡県文化プログラム推進委員会との連携の下、全県的なオリンピックムーブメントの醸成に努めた。

また、東京2020参画プログラム及び静岡県文化プログラムに積極的に申請し、認証を受けるとともに、静岡県文化プログラム推進委員会と共催で県域プログラム「500日前イベント・ふじのくに伝統芸能フェスティバル」を実施した。

	東京2020参画プログラム	静岡県文化プログラム
認証件数	20件	63件

③ 文化力プロジェクト環境整備事業

ア ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を発展・継承し県内外に発信するため、文化団体に対して助成した。

○事業補助

(単位：千円)

	補助団体名(所在地)	対象事業名	補助額
1	浜松少年少女合唱団 (浜松市)	浜松少年少女合唱団創立20周年記念演奏会	300
2	第15回静岡県マントリンフェスティバル 実行委員会(静岡市)	第15回静岡県マントリンフェスティバル	195
3	浜松合唱団 (浜松市)	創立30周年記念Ⅱ 第30回浜松合唱団定期演奏会	146
4	静岡ヴァルティイ合唱団 (静岡市)	静岡ヴァルティイ合唱団ミニコンサート	300
5	コレギウム・ムジクム静岡 (静岡市)	コレギウム・ムジクム静岡 ハンガリー友好親善演奏会	300
6	静岡大学OBガクサークラブ (浜松市)	日本・リトアニア親善合唱交流演奏会 リトアニア・ビルニュス大学女声合唱団“Veni Gaudere”を迎えて	300
7	ホペラ・ティファミリー (静岡市)	ホペラ「助けて!助けて!メロディがやってきた!」	300
8	浜松イントネア友好協会 (浜松市)	第13回バントン浜松文化祭	300
9	田京の式三番保存会 (伊豆の国市)	平成30年度 第60回関東ブロック民俗芸能大会出演	110
10	さくらの架け橋会 (静岡市)	さくらの架け橋 絆 コンサート	291
11	静岡ハッパ合唱団 (静岡市)	創立10周年記念事業、J. S. ハッパ「カンタータ150番・158番・182番」と團伊玖磨「筑後川」演奏会	167
12	知半アートプロジェクト委員会 (伊豆の国市)	知半アートプロジェクト特別展示 「ひで代さんの染しごと 布あそび」	300
13	一般社団法人エネコイント (藤枝市)	藤枝短編演劇祭	300
14	下田「ハ短調」を歌う会 (下田市)	山田和樹指揮「ハ短調」演奏会	300
計	14団体	—	3,609

## ○団体補助

(単位：千円)

	補助団体名 (所在地)	対象事業名	補助額
1	うきうきプロジェクト (静岡市)	オペラ公演のためのスキルアップ勉強会	300
2	街カル実行委員会 (静岡市)	文化講師&ものづくり作家への「活動の場」提供支援と情報発信事業	300
3	演劇ユニット FOX WORKS (浜松市)	多目的コミュニティスペース「Sketchbook Theater」運営及びメンバーのスキル養成	169
4	古谿荘に親しむ会 (富士市)	継続的な活動の為に次世代スタッフ養成事業	100
5	一般社団法人シフォニエッタ静岡 (焼津市)	県外での広報活動強化	100
6	登呂会議 (静岡市)	ARTORO「土がぼくらにくれたもの。～自給自足は道具から～」	100
計	6団体	—	1,069
事業・団体補助合計		20団体	4,678

## イ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源を再発見し、県民の共有財産として、後世に伝えていく書籍を発行するため、しずおか文化企画編集委員会を設置・開催し、制作を進めた。

## ウ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

文化プログラム推進の一環として、次世代を担う県内の中高生に上質で多彩な文化芸術に触れてもらうため、グランシップ企画事業の鑑賞に要する交通費を全額支援した。

公演数	学校数	生徒数	金額
12公演	40校	3,880人	4,100,358円

※教員・生徒を合わせ延べ4,007人

## 2 グランシップ管理運営事業

施設の適正な維持管理及び貸館業務等の円滑な運営を通じて、学術・文化・芸術の振興と、国内外との交流を推進した。

・入館者数…590,327人

※開館(平成11年3月)以来の入館者総数 14,253,088人(平成31年3月31日現在)

## (1) 貸館

公共性と収益性のバランスを確保し、「親切・丁寧・迅速・柔軟」をモットーに利用者の満足度を高め、施設の利用促進を図った。

## ○主要施設の稼働実績

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー
稼働実績	222日	270日	267日	263日	265日
利用可能日数	273日	310日	316日	319日	317日
稼働率	81.3%	87.1%	84.5%	82.4%	83.6%

※上記ホール系の平均稼働率は83.8%、施設全体の稼働率は84.6%

## ○全国大会等のコンベンション開催状況

	開催日	催 事 名
1	4/14～15	第8回全日本極真空手道型選手権大会・第9回東日本極真空手道選手権大会
2	4/15	第48回中部統括支部スクエアダンスジャンボリー
3	4/22	中部日本ダンス競技静岡県大会
4	5/30～6/1	日本薬剤学会第33年会
5	6/9～6/10	第65回NHK杯全国高等学校放送コンテスト静岡県大会
6	7/4	全国管工事業協同組合連合会第58回通常総会・全国大会
7	7/8	第64回関東甲信越静里親研究協議会静岡市大会
8	7/12～13	第51回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会
9	7/22	東海障害者歯科臨床研究会
10	7/26～27	東海北陸地区私立幼稚園教育研究静岡大会
11	7/29	静岡フレンドサークル38周年アニバーサリー
12	8/20	第10回静岡県高齢者福祉研究大会
13	8/26	中部日本ダンス競技静岡県大会
14	8/30	平成30年度全国食品衛生監視員協議会第58回関東ブロック研修大会
15	9/27～28	第49回日本看護学会学術集会
16	10/12～13	第40回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会
17	10/21	平成30年度会員研修会・第33回静岡接骨学会
18	10/25	平成30年度静岡県健康福祉大会
19	11/4	第37回日本小児歯科学会中部地方会大会・総会
20	11/7	日米医療機器イノベーションフォーラムin静岡
21	11/7	静岡県仏教婦人会第60周年記念大会
22	11/11	平成30年度8020推進・静岡県大会
23	11/16～17	第23回静岡健康・長寿学術フォーラム
24	11/18	平成30年度静岡県高等学校総合文化祭放送部門兼第39回静岡県高等学校放送新人コンクール
25	11/19	平成30年度第26回静岡県図書館大会
26	11/23～26	第44回全国語学教育学会年次国際大会

	開催日	催 事 名
27	12/2	第51回東海薬剤師学術大会
28	12/6	第15回お米日本一コンテストinしずおか
29	12/18	「チャレンジ東海」新幹線第32回新幹線鉄道事業本部大会
30	12/27～28	アイエイアイ全社交流会・懇親会・次年度経営計画発表会
31	1/3	静岡市成人式
32	1/26	静岡音楽祭
33	2/7	平成30年度人権教育指導者研修会
34	2/8	ふじのくに総合食品開発展2019
35	2/15	全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」
36	2/17	ふじのくに芸術祭
37	2/23	SUS株式会社 第28期 経営計画発表会・懇親会
38	2/28	3・1ビキニデー日本原水協全国集会
39	3/9	第8回泌尿器単孔式・Reduced port腹腔鏡手術ワークショップ
40	3/16～18	第3回ふじのくに地球環境史ミュージアム・富士山世界遺産センター合同国際シンポジウム

① 利用者サービスの一層の向上

サービスの質の向上を目指し、全ての利用者に対してアンケート調査を実施するとともに利用者会議を開催し、利用者ニーズを的確に把握・分析し、迅速に対応した。

また、弁当手配やパーティー開催などの催事開催支援サービス（ワンストップサービス）では、利用者ニーズを把握してメニューの拡充に努めた。

○業務改善の推進

- ・インターネットによる備品予約の開始
- ・使用結果報告書のお客様のご意見に対する対応改善報告の徹底
- ・パーティーメニューの改定

○中小会議室（100人未満）・練習室のインターネット予約

- ・予約率 52.7%

○利用者会議の開催

開催日	H31. 2. 27(水)
場 所	グランシップ 1202会議室
参加者	平成30年度中にグランシップ 会議室・練習室を利用した主催者7団体9人
内 容	・過去の利用者会議開催報告 ・意見交換 ・ケータリングサービス体験（デザート・コーヒー試食） 等

### ○催事終了後のアンケート

回答数	4,907件/6,234件 (回答率78.7%)	
結果	施設・備品が使いやすい	85.5%
	館内利用がわかりやすい	84.2%
	スタッフの対応が良い	86.3%

### ○催事開催支援サービスの内訳

- ・弁当、ケータリング、パーティー
- ・テクニカルセッティング、看板、生花、会場設営
- ・レイアウト転換、ごみ処理
- ・コピー等事務サポート

### ② 積極的な営業活動

貸館の優先予約制度を活用し、全国規模の学会・大会を柔軟に受け入れるとともに、文化団体や県内マスコミ事業部、県内コンサートプロモーターへの営業活動等により、様々な文化芸術・学術催事を積極的に誘致した。

また、県内の文化芸術団体や大学等と協働関係を強め、ふじのくに芸術祭のイベントを誘致したほか、空き状況をダイレクトメールで利用者に送る等、積極的に営業活動に取り組んだ。

なお、全館休館を見据えて、運営改善・収入増を図るための現状分析に取り組んだ。

### ③ 大規模催事の誘致

県内外への営業訪問を計画的に行い、コンベンション等を誘致し、施設利用の一層の拡大を図った。また、(公財)するが企画観光局、ツインメッセ静岡、静岡市民文化会館等と連絡会を設け、誘致のための情報交換を行った。

特に、ツインメッセ静岡とは、催事情報を共有するなど、「オール静岡」体制の連携を図った。

### (2) 維持管理

#### ① 安全・安心・快適な施設管理

グランシップ指定管理者として、施設管理、警備、清掃、舞台技術の各業務を専門業者に委託し、適切に管理運営した。

電力中央監視装置の更新等の県修繕工事が円滑に実施できるよう協力した。また施設の運営に支障が生じないように、大ホールのパレット席や消防用設備、空調機等の不良・不具合箇所を迅速に修繕した。

#### ② ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、毎月の防災訓練の中で、障害のある方への対応等、様々な来館者に対応するための研修を実施した。

#### ③ 省エネルギーと環境負荷の低減

エネルギー監理員主導による効率的なエネルギーの運用を徹底するため、財団及び各常駐事業者等からなる「省エネルギー推進委員会」を毎月開催して、館全体で省エネルギーと環境負荷低減に取り組んだ。

○エネルギー使用実績

電 気	5,974,810 kwh
ガ ス	661,005 m <sup>3</sup>
エネルギー総量	88,294 GJ

④ 賑わい創出

(公財)静岡市文化振興財団、静岡大学、県立美術館、静岡市立美術館等が東静岡駅北側を中心に静岡市内各所を会場に協働で取組んでいる「めぐるりアート」と連携して、館内に作品を展示する「めぐるりアート+ (プラス)」を新たに始めるとともに、映像ホールを活用したレコードコンサートにも引き続き取り組み、グランシップが文化振興の拠点として、親しみやすい環境づくりを進めた。

○めぐるりアート+ (作品展示)

展示期間	作 者	作 品 名
H30.5~10	大杉弘子 (書家)	阿摩羅不可思議
H30.10~H31.4	ウィルフリド・ゴンザレス (ラタン造形)	喜びづくり/心の平和づくり

○レコードコンサート

開 催 日	回 数	参加者数
毎月月末の金曜日	12回	562人

⑤ 駐車場管理、自動販売機等管理

来館者サービスの向上を図るため、適切な駐車場管理を行った。また、館内に自動販売機・公衆電話等を設置し、適切に管理した。(自動販売機15台・公衆電話4台)

○収入実績

駐車場収入	55,608千円
自動販売機等設置手数料	7,545千円

(3) サポート組織運営

県内の文化振興に関心があり、活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を実施した。

(平成31年3月31日現在)

業 務	内 容	活動者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、館外でのポスター・チラシの掲出・配架、見学案内等	66人
イ ベ ント	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	65人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	16人
託 児	公演時の託児サービス等	9人
文化情報	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」における運営等	19人
計	(兼務含む)	175人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

「火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応」を危機管理、また「前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応」をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努めた。

① 危機管理

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員だけでなく、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を毎月実施した。

また、発災時の迅速な初動態勢の確立のため、毎日の朝・夕礼時に自衛消防隊の編成を確認した。

② リスクマネジメント

故障による機器類の停止等の回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行った。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小とするため、適切な応急措置を直ちに講じ、修繕を行うとともに、財団で実施できない修繕については、県へ迅速に報告し、指示を受けた。

3 友の会事業

		年会費	特 典
個人会員		無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランシップ 企画事業のチケット優先予約（一般発売の1週間前）</li> <li>・指定するグランシップ 企画事業のチケット購入額の5%のポイント付与</li> <li>・積み立てポイントは100ポイント単位（1ポイント＝1円）で次回購入時から割引、または500ポイント単位で1階レストラン・カフェでの割引</li> <li>・公演情報の無料提供</li> <li>・グランシップ 友の会提携店及び提携館での割引サービス他</li> </ul>
法人会員	特別会員	200,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌・グランシップ ホームページへの法人名掲載</li> <li>・グランシップ 1階エントランスホールに法人名掲出</li> <li>・グランシップ 企画事業への招待（年間：特別会員20席、一般会員6席）</li> </ul>
	一般会員	100,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が指定する事業の招待券を配布（登録従業員数分、上限：特別会員1,000枚、一般会員500枚）</li> <li>・法人会員の社員等はチケット10%割引のほかポイント付与以外の個人会員の特典を付与</li> </ul>

○入会状況（平成31年3月31日現在）

友の会個人会員数	10,096人
----------	---------

※平成31年4月30日現在の個人会員数：10,244人

	特別会員	一般会員	計
友の会法人会員数	4社	20社	24社

4 文化財団法人運営

(1) 広報・宣伝

新聞広告、情報誌「GRANSHIP」やホームページ等の自己媒体、SNSやモニター等の双方向性のある手段を世代に合わせて組み合わせ、情報発信に取り組んだ。

① 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、情報提供時期、媒体等の効果的・効率的な情報発信に取り組んだ。

② 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等の新たな媒体を効果的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に引き続き取り組んだ。

【自己媒体】

- ・情報誌「GRANSHIP」（年4回発行、A4判、36P、35,000部）
- ・チラシ・ポスター（グランシップ企画事業の公演毎に作成）
- ・ホームページ、メールマガジン、ブログ、フェイスブック等のインターネット系
- ・年間イベントカレンダー（グランシップ企画事業の公演紹介、年1回発行）
- ・財団アニュアルレポート

【広告】

- ・新聞・フリーペーパーへの広告（静岡新聞他）
- ・ラジオ広告（SBSラジオ、K-MIX、コミュニティFM）
- ・交通広告（JR東海静岡駅等でのポスター掲示）

【その他】

- ・記者会見や記者発表、プレスリリース等
- ・公演毎、貸館利用毎のアンケート実施
- ・グランシップ企画事業モニター制度（10人、公演鑑賞アンケート、モニター会議年4回）
- ・貸館利用者による利用者会議（年1回）

(2) 働きやすい職場づくり

① 人材育成

ア 契約職員の正規職員化

平成28年度から実施している正規職員への登用試験について、平成31年度登用にむけて実施し、1人が合格した。

イ 専門的人材の育成

職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保するため、全国公立文化施設協会主催の外部専門研修、静岡文化芸術大学より講師を招き主催した芸術文化政策やアートマネジメントの基礎講座に職員を積極的に参加させた。

財団事業計画や指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況などをテーマに休館日に職員研修を実施した。

ウ 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対し、特別研修（職員自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考にしたい施設等を自由に選び計画したものに対し、財団が費用負担する）を実施した。

② 仕事と生活を両立できる職場づくり

ア 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の把握、時間外勤務の事前申請の徹底等、労働時間の管理を適切に実施した。

各々の職員が勤務時間を自己管理し、効率的に業務を進めることができるよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を実施した。

イ 健康管理とストレスチェックの導入

職員の定期健康診断や人間ドックの検診を実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの活用に向けて検討を始めた。

ウ 育児・介護休業制度の適切な運用

法令改正に依拠した育児・介護休業等に関する規程に基づき、育児短時間勤務制度等を運用した。

	育児休業	短時間勤務	遅出早出勤
対象職員数	0人	2人	1人

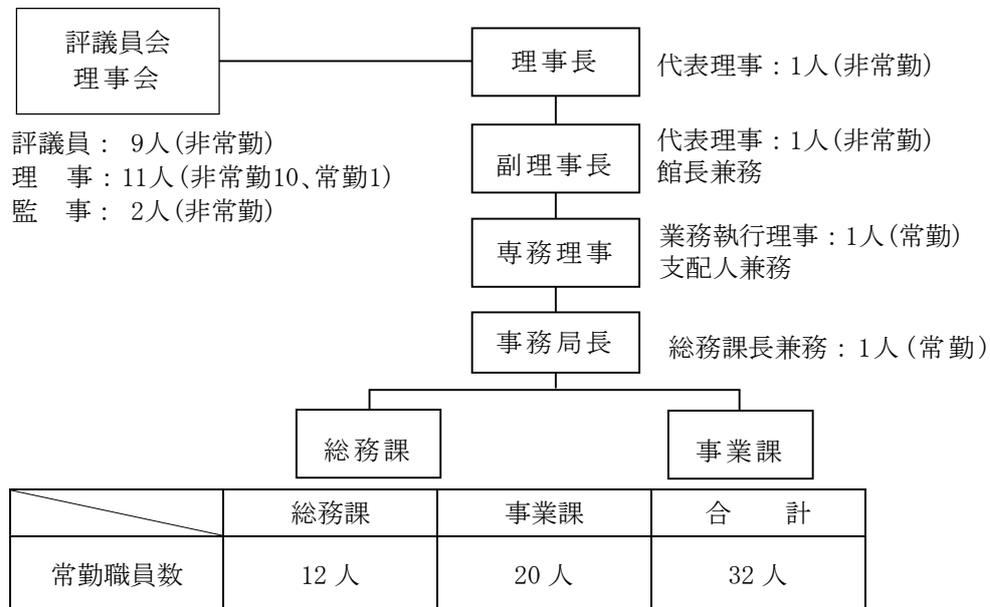
(3) 安定した財務管理

チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、文化庁の国庫補助金に加えて、キャリアアップ助成金を獲得するなど、厚生労働省の各種助成金も活用した。

また、常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持するため、毎月の月次決算及び上半期終了時の中間決算を実施した。

(4) 組織体制

(平成 31 年 3 月 31 日現在)



○理事会等の開催状況

開催年月日	会議	内容	採否状況
H30	5/16	監事監査	・平成29年度事業報告 ・平成29年度決算及び財産目録 —
	4/10	第1回理事会	・専務理事の選定 ・公益財団法人静岡県文化財団職員就業規程の一部改正 出席者の全会一致による可決 〃
	5/10	(書面)理事会	・評議員会(書面決議)の開催 理事全員の書面による同意
	5/17	(書面)評議会	・理事の選任(書面決議) 〃
	5/29	第2回理事会	・平成29年度事業報告 ・平成29年度決算及び財産目録 ・平成30年度補正予算 ・定時評議員会の開催 出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃
	6/25	定時評議員会	・平成29年度事業報告 ・平成29年度決算及び財産目録 ・平成30年度補正予算 ・評議員の選任 出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃
	12/26	第3回理事会	・平成30年度事業計画の変更及び補正予算 ・公益財団法人静岡県文化財団公印規程の一部改正 ・第2回評議員会の開催 出席者の全会一致による可決 〃 〃

開催年月日	会 議	内 容	採否状況
H31	1/18	第2回評議員会 ・平成30年度事業計画の変更及び補正予算 ・公益財団法人静岡県文化財団公印規程の一部改正	出席者の全会一致による可決 〃
	3/5	第4回理事会 ・平成30年度補正予算 ・平成31年度事業計画 ・平成31年度当初予算 ・平成31年度基本財産運用計画 ・剰余金の使用計画の変更 ・諸規定の一部改正 ・第3回評議員会の開催	出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃
	3/13	第3回評議員会 ・平成30年度補正予算 ・平成31年度事業計画 ・平成31年度当初予算 ・静岡県文化財団理事選考委員会設置運営要綱の制定及び委員の選任	出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃

○許認可及び登記の状況

登記日	内 容
H30 7/24	理事の辞任・就任登記
H31 1/9	代表者印（副理事長）登記

許認可なし

○基本財産の造成状況

平成31年3月31日現在

	基本財産造成額	備 考
県出捐金	600,000千円 300,000千円	昭和59年度～61年度 平成4年4月1日 文化振興基金取崩額 251,100千円 県上乘せ分 48,900千円
小 計	900,000千円	
市町村出捐金	100,000千円	昭和59年度～昭和61年
寄附金等	1,710千円	個人寄附 その他
基本財産造成額合計	1,001,710千円	
基本財産時価評価額	1,057,647千円	平成30年度末 新会計基準による